

自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(保健体育)／田中 弘之

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

Ⅰ. 学長の定める重点目標

Ⅰ-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

- ① 教育活動の基盤となる授業内容について、これまでは教科専門としての生理科学的視座による講義や演習を展開してきたが、子どもたちの体力問題が重要な課題となっている現況に鑑み、体力医科学領域からのアプローチを主体とした具体的方略へと発展させることを企図する。
- ② 授業方法について、豊富な実証データを包含した視聴覚教材を多数提示して実践的課題を認識し、その課題を克服するために有用となる運動処方策の策定について検証する。
- ③ 実践データの客観的解析方法に関する統計学的理解を深めるために、演習形式の授業のより一層の充実に努め、自然科学的素養の深化に努める。

2. 点検・評価

- ① 教育活動の基盤となる授業内容について、子どもたちの体力問題が重要な課題となっている現況に鑑み、徳島県教育委員会「子どもの体力・運動能力向上対策委員会」委員としての解析内容等を具体的に講義の中で論考し、体力医科学領域からの運動処方論を展開した。
- ② 授業方法について、豊富な実証データを包含した視聴覚教材を多数提示して実践的課題を認識させるために、①で収集した資料のほか、最新の論文の抄読を加えて、課題解決に対する実践力を養成した。
- ③ 実践データの客観的解析方法に関する統計学的理解を深めるために、②のデータを利用して、具体的な問題点に関する実習を取り入れ、自然科学的解析技法の修得に努めた。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ① これまでも、週2回の頻度で実施しているゼミ生に対するランチョンセミナーを当該年度も継続し、教科の専門性だけではなく、一般教養を高めるための就職支援対策として堅固に推進する。
- ② ラグビーフットボール部、サッカー部、創作ダンス部の顧問教員として、課外活動の指導等にも一層の熱意を傾注し、多面的な方向性をもって、豊かな創造力を有する教員の養成に努める。

2. 点検・評価

- ① 例年通り、週2回の頻度で実施しているゼミ生に対するランチオンセミナーを継続し、教科の専門性だけでなく、一般教養および教職教養を高めるための就職支援対策として堅固に推進し、本年度の2名のゼミ生も京都府小学校教員正規採用、本学大学院進学と、希望する進路を保証することができた。
- ② ラグビーフットボール部、サッカー部、創作ダンス部の顧問教員として、課外活動の指導等にも精力的に取り組み、多面的な方向性をもって、豊かな創造力を有する教員の養成に努めており、ラグビーフットボール部は今年度も四国インカレおよび秋季リーグで準優勝を果たし、創作ダンス部もフレンドシップ事業等で地域連携にも貢献した。

II-2. 研究

1. 目標・計画

- ① 学外者との共同研究をさらに推進し、自己の専門分野に留まらず、学際的な観点からも教育実践学の構築に努める。
- ② 教育・研究活動における成果の公表に努める。

2. 点検・評価

- ①② 専門領域である体力医科学研究において、学外者との共同研究としての脳血流に関する実験・考証を推進し、国内外における学会発表および学会誌への掲載を行った。教育実践学領域においても、ラグビーの発展性に関する学会発表を重ね、その成果を学会誌に投稿するべく、現在執筆を進めている。

II-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ① 芸術・健康系教育部長の職責を果たすとともに、各種委員会委員等として、大学運営の分掌に努める。
- ② 大学運営に関する問題点・発案等について、積極的に提言する。

2. 点検・評価

- ① 芸術・健康系教育部長の職責及び各種委員会委員等として、大学運営の分掌に努めた。
- ② 大学運営に関する問題点・発案等について、各種の委員会において、積極的に課題解決の方略等の立案と実践に努めた。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ① 附属幼稚園が文部科学省の研究開発学校の指定を受けて実施する幼稚園・小学校の接続カリキュラムの開発に関して設置される研究開発学校運営指導委員を担当し, 連携に努める。
- ② 教育支援講師・アドバイザーなどとして, 積極的に学校現場, 地域主催研修会等に出向き, 指導・助言を行うよう努める。
- ③ 教育委員会, 学校など, 学外における諸委員会の委員を積極的に引き受け, 社会貢献に努める。

2. 点検・評価

- ① 附属幼稚園が文部科学省の研究開発学校の指定を受けて実施する幼稚園・小学校の接続カリキュラムの開発に関して設置される研究開発学校運営指導委員会委員長として, 今年度の事業報告および来年度の事業計画等を取り纏めた。
- ② 教育支援講師・アドバイザーなどとして, 積極的に県および市町村教育委員会, 学校現場, 地域主催研修会等に出向き, 指導・助言, 講演講師等を務めた。
- ③ 県教育委員会, 鳴門市, 附属学校等における諸委員会の委員の委嘱を受け入れ, 社会貢献に努めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)